【資料１】

２０２２度
町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト
（通称：町プロ）
活動報告

～高齢者の在宅療養を支えるために～
医療・介護をはじめとした多職種が連携し、地域包括ケアシステムの構築を目指すことにより、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを推進します。

【資料１】

１　町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会　協議事項等について

「町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会」を３回開催しました。

（１）　開催日（全３回）

第１回　２０２２年　５月１９日(木)
第２回　２０２２年１０月２０日(木)
第３回　２０２３年　１月２６日(木)

（２）　主な協議事項

第１回　・２０２２年度多職種連携研修会について
　　・２０２２年度医療と介護の資源紹介イベント開催について
第２回　・(仮称）町田市在宅療養者訪問時等トラブル相談窓口事業について（案）
　　・第１９回多職種連携研修会について
第３回　・町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト実施方針
　　（２０２３～２０２５年度）（案）について

（３）　主な報告事項

第１回　・２０２１年度町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト活動報告
　　・２０２１年度　医療と介護の資源紹介イベント開催報告について
　　・患者家族による訪問医ら殺傷事件を受けての対応について　　他
第２回　・２０２２年度医療と介護の資源紹介イベント開催報告について
　　・第１８回多職種連携研修会開催報告について
　　・救急医療情報キット部会立ち上げについて　　他
第３回　・第１１回喀痰吸引研修の実施報告について
　　・第１９回多職種連携研修会について
　　・第９回昭和上條医療賞の受賞について　　他

【資料１】

２　多職種連携研修会について

医療・介護等のサービス提供者がスムーズに連携するチームケアの実現を目的に医療・介護関係者を対象とした専門職向け研修会と、在宅療養に関する知識の普及を目的とした市民向け研修会を、それぞれ１回ずつ開催しました。

（※これまでの実績）　２０１３年度：第１回（２０１４年３月）、
２０１４年度：第２回（２０１４年９月）、第３回（２０１５年３月）
２０１５年度：第４回（２０１５年８月）、第５回（２０１６年２月）
２０１６年度：第６回（２０１６年９月）、第７回（２０１７年２月）
２０１７年度：第８回（２０１７年９月）、第９回（２０１８年３月）
２０１８年度：第10回（２０１８年８月）、第11回（２０１８年１２月）
２０１９年度：第12回（２０１９年８月）、第13回（２０１９年１２月）
２０２０年度：第14回（２０２０年１１月）、第15回（２０２１年３月）
２０２１年度：第16回（２０２１年８月）、第17回（２０２２年１月）

●第１８回多職種連携研修会（専門職向け）

（１）開催日：①２０２２年８月２７日（土）
②２０２２年９月１２日（月）～１０月１２日（水）

（２）開催方法：①リアルタイム配信
②録画配信

（３）テーマ：「医療・介護現場のカスタマーハラスメント対策～自分の身を守り安心して継続支援を行うために～」

（４）研修内容：
・講演
『法的観点による医療・介護現場におけるカスタマーハラスメント対策』
アルファパートナーズ法律事務所　弁護士　周　将煥　氏
『医療・介護現場におけるカスタマーハラスメントの予防策及び対応事例』
株式会社　ウィ・キャン　代表取締役　濱川　博招　氏

（５）参加者数：①１０６名
②２７名

【資料１】

●第１９回多職種連携研修会（市民向け）

（１）開催日：２０２３年２月１８日（土）１３：００～１６：３０

（２）会　場：町田市役所３階会議室及びアトリウム

（３）研修内容：

①フレイルチェック

・測定会

・専門職相談ブース

②講演

『薬局を活用してフレイル予防！～まずはかかりつけ薬局をつくりましょう～』

しんわ薬局玉川店　薬剤師　加藤孝紀氏

『自宅でできる！お口のフレイル予防！』

齋藤歯科医院　歯科医師　齋藤太伊輝氏

『フレイル予防～歳をとっても元気に～』

川村クリニック　医師　川村益彦氏

③町プロ紹介パネル展示

（４）来場者数：２６７名

３　喀痰吸引研修について

「社会福祉士および介護福祉士法」の一部改正（注１）により介護を必要とする方に対し安全かつ適切に痰（たん）の吸引等を行うことができるホームヘルパーなどを養成することを目的に、医師会と協力して実施しています。

（注１）たんの吸引等について

医師や看護師に限定されていた、痰の吸引等について一定の研修を受けた介護職員等においては、医療や看護との連携による安全確保が図られている等、一定の条件の下で痰の吸引等の行為を実施できるようになりました。（H24.4「社会福祉士および介護福祉士法」一部改正により）

（１）　開催日：２０２２年１１月１９日（土）、２０日（日）

（２）　研修場所：町田市医師会館

（３）　研修概要

特定の喀痰吸引等の医療行為が実施可能となる第３号研修

（４）参加者数　　２０名

参加者数累計　３１３名

（うち、実地研修実施人数累計　１５２名）

４　救急医療情報キットについて

高齢者の安全・安心を確保することを目的に、「かかりつけ医」「緊急連絡先」などの情報を専用の容器に入れ、自宅に保管しておくことで、万が一の救急時に備えるツールです。

現状の確認と内容の見直しを行うため、２０２３年２月に部会を立ち上げました。

（１）　運用方法

主疾患や服用中の薬、緊急連絡先等を記載した救急医療情報記録用紙が入った「救急医療情報キット」の専用ボトルを対象者宅の冷蔵庫に保管すると、緊急時に救急隊が情報を確認し、救急病院に情報提供をします。冷蔵庫と玄関にステッカーを貼ることで救急隊にボトルが冷蔵庫に入っていることを知らせることができます。

医療機関（かかりつけ医）、高齢者支援センターで配布しています。

（２）　対象者

ア　７５歳以上の単身者（日中独居の方含む）

イ　ア以外で医師が必要と判断した方

（３）　配布物

ア　救急医療情報キット専用ボトル

イ　冷蔵庫用ステッカー・玄関用ステッカー

ウ　救急医療情報記録用紙

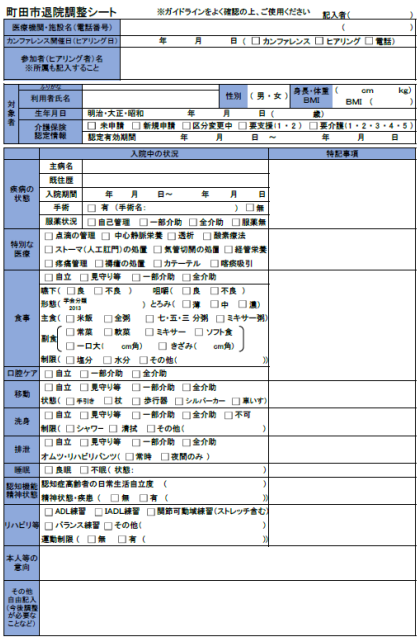
エ　救急医療情報キットのご案内（パンフレット）

【資料１】

５　退院調整シートについて

入退院支援部会にて、病院を中心とした入退院支援がスムーズに行えるように、退院時の効率的かつ効果的な情報共有の仕組みについて検討し、退院支援においてケアマネジャーが退院後の在宅療養のために必要な情報を病院スタッフからヒアリングする際の項目をまとめた「退院調整シート」を２０１８年度に作成しました。

２０２０年度にシートの見直しを行い、改訂版のシートの活用を促進しています。



町田市退院調整シート　※ガイドラインをよく確認の上、ご使用ください　記入者（　　）

医療機関・施設名（電話番号）	（　　）
カンファレンス開催日（ヒアリング日）	年　月　日（ □ カンファレンス □ ヒアリング □ 電話）
参加者（ヒアリング者）名 ※所属も記入すること	

対象者	ふりがな 利用者氏名		性別 （ 男・女 ）	身長・体重（ cm kg） BMI BMI（ ）
	生年月日	明治・大正・昭和　年　月　日（　歳）		
	介護保険認定情報	□ 未申請 □ 新規申請 □ 区分変更中 □ 要支援（1・2） □ 要介護（1・2・3・4・5）		
		認定有効期間　年　月　日 ～　年　月　日		

	入院中の状況	特記事項
病病の状態	主病名	
	既往歴	
	入院期間　年　月　日～　年　月　日	
	手術　□ 有（手術名：　　） □ 無	
	服薬状況　□ 自己管理　□ 一部介助　□ 全介助　□ 服薬無	
特別な医療	□ 点滴の管理　□ 中心静脈栄養　□ 透析　□ 酸素療法	
	□ ストーマ（人工肛門）の処置　□ 気管切開の処置　□ 経管栄養	
	□ 疼痛管理　□ 褥瘡の処置　□ カテーテル　□ 喀痰吸引	
食事	□ 自立　□ 見守り等　□ 一部介助　□ 全介助	
	嚥下（ □ 良　□ 不良 ）　咀嚼（ □ 良　□ 不良 ）	
	形態（平成25年度版 ）とろみ（ □ 薄　□ 中　□ 濃）	
	主食（ □ 米飯　□ 全粥　□ 七・五・三 分粥　□ ミキサー粥）	
	副食（ □ 常菜　□ 軟菜　□ ミキサー　□ ソフト食 / □ 一口大（　cm角）　□ きざみ（　cm角））	
	制限（ □ 塩分　□ 水分　□ その他（　　））	
口腔ケア	□ 自立　□ 一部介助　□ 全介助	
移動	□ 自立　□ 見守り等　□ 一部介助　□ 全介助	
	状態（ □ 車椅子　□ 杖　□ 歩行器　□ シルバーカー　□ 車いす）	
洗身	□ 自立　□ 見守り等　□ 一部介助　□ 全介助　□ 不可	
	制限（ □ シャワー　□ 清拭　□ その他（　　）	
排泄	□ 自立　□ 見守り等　□ 一部介助　□ 全介助	
	オムツ・リハビリパンツ（ □ 常時　□ 夜間のみ ）	
睡眠	□ 良眠　□ 不眠（ 状態：　　）	
認知機能・精神状態	認知症高齢者の日常生活自立度　（　　）	
	精神状態・疾患（ □ 無　□ 有（　　））	
リハビリ等	□ ADL練習　□ IADL練習　□ 関節可動域練習（ストレッチ含む）	
	□ バランス練習　□ その他（　　）	
	運動制限（ □ 無　□ 有（　　））	
本人等の意向		
その他自由記入（今後調整が必要なことなど）		

６　ケアマネサマリーについて

受診または入院の際に、介護保険サービスの利用者や家族の状況から治療及び退院時に積極的な支援が必要であるとケアマネジャーが判断した場合に、医療機関へ利用者の情報を提供するために使用するシートです。

２０１８年度にケアマネジャー連絡会が中心となって様式を見直し、改訂版ケアマネサマリーを作成しました。

試行期間を経て、２０１９年３月より本格運用を開始しています。

ケアマネサマリー
（町田市入院時・外来受診時等情報提供書）

作成日　平成　年　月　日

提出先	医療機関名	
	ご担当者	様

以下の情報は、利用者及び家族等の同意に基づき提供しています。

発信元	名刺添付（のりでしっかりと貼ってください）添付しない場合は以下に記入	
	事業所名	
	担当ケアマネジャー	
	電話番号	

■ 提出理由　□ 入院　□ 外来受診　□ 医療系サービス利用によるケアプランの提出　■ 入院日　年　月　日

■ 基本情報

フリガナ			性別	家族構成（同一世帯は○で囲む・キーパーソンは☆をつける）			
氏名			男・女				
生年月日	大正・昭和　年　月　日　歳						
住所							
電話番号							
フリガナ		続柄	電話番号	フリガナ		続柄	電話番号
家族氏名①				家族氏名②			
（キーパーソン）	連絡がつきやすい時間帯			連絡がつきやすい時間帯			
要介護度	□ 未申請 □ 申請中 □ 区分変更中 □ 事業対象者 □ 要支援（1・2） □ 要介護（1・2・3・4・5）						
公費負担	□ 生保（担当CW　） □ 原爆 □ 特定疾病 □ 障害者手帳（身体・精神・療育　種　級・度）						

■ 医療情報

障害高齢者の日常生活自立度		認知症高齢者の日常生活自立度	
医療機関名・診療科（医科・歯科）	医師名	現病歴・既往歴	服薬情報
			□ 管理（本人・家族・訪看・療養・施設）
			□ 確認（手帳・処方説明書・現物）
			□ その他 特記事項（　）

■ 経過等

●入院等に至る経過（直近1週間程度）

●本人やご家族等の意向

●サービス利用状況
□ 訪問介護
□ 訪問看護
□ デイサービス
□ 居宅療養管理指導
□（　）

■ ADL情報

食事	自立・見守り・一部介助・全介助		特記事項
排泄	自立・見守り・一部介助・全介助		
着脱	自立・見守り・一部介助・全介助		
移動	自立・見守り・一部介助・全介助		

■ 添付書類　□ 基本情報　□ 居宅サービス計画書（第1～3表）　□ 服薬内容　□ その他（　）

■ お願い　病院側で在宅生活に向けた支援の検討を開始する際に、ケアマネジャーにご連絡ください。また、必要に応じて、退院時に情報提供（診療情報提供書、看護サマリー等）もお願いいたします。 <町田市様式　2019.2版>

【資料１】

７　Dr.Link について

医師がケアマネジャーからの連絡や相談をスムーズに受けることができるように、あらかじめ医師が対応可能な曜日、時間帯、相談方法などをリスト化してケアマネジャーが医師と連絡や相談がしやすい環境をつくるケアマネタイムを導入しました。町田市版ケアマネタイムを「Dr.Link」と名付け、２０１５年３月から南圏域でモデル運用スタート。２０１７年４月から市内全域での運用開始となり、毎年更新を行っています。
（２０２０年度以降は未更新）

町田市南地域Dr.Link（町田市版ケアマネタイム）一覧表

平成27年6～11月現在（1年ごとに更新予定です）

地区	電話	FAX	e-mail	郵送	時間帯	月曜日	火曜日	木曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	その他注意事項等	備考
つくし野	●●●-●●●●	●●●-●●●●	×	受付	午前	9:00～11:30	9:00～11:30	9:00～11:30	9:00～11:30	9:00～11:30	9:00～11:30	×	祝日：休診 受替のCM携帯はOK プラン郵送はOK	支点前にDr.Linkを電話したい（内容を）
	②	①	×	③	午後	14:00～18:30	14:00～18:30	14:00～18:30	×	14:00～18:30	×	×		
つくし野	●●●-●●●●	●●●-●●●●			午前									ご高齢で新しいプロジェクトの参加は難しい 今仕事を保護している状態の様子。医師会からのFAXも読んだが、訪問も受け入れ難しいとの事
					午後									
			●●											

８　シンボルマークの制作・活用

２０１８年４月より、シンボルマークの募集・作成、活用方法及び広報活動の検討を目的に、シンボルマーク部会を開催。公募を経て、シンボルマークを決定しました。

現在は、町プロのステッカーやお薬手帳カバー等に印刷し、広報に活用しています。

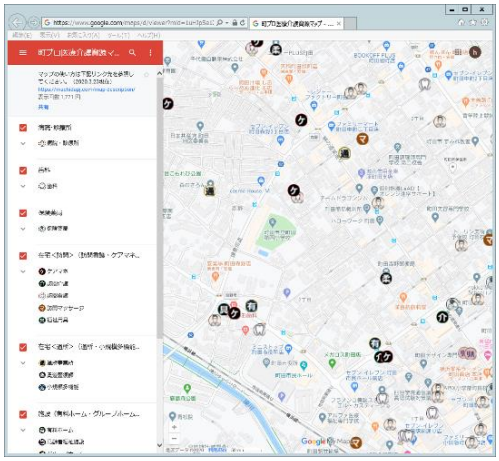
９　町プロオリジナルお薬手帳カバー

在宅高齢者を支える多職種連携のツールのひとつとして、２０２１年１１月より配布を開始しました。在宅高齢者の生活を支える上で、ご本人と医療機関、薬局、ケアマネジャー、ホームヘルパー、訪問リハビリテーション等の専門職が日常の気づいたことなどをお薬手帳に記載し、情報共有を行うことができます。

またカバーには高齢者あんしんキーホルダーの情報や、ケアマネジャーなどの名刺を入れるポケットが付いており、在宅高齢者の緊急連絡先等の確認にも役立ちます。

【資料１】

１０　地域資源マップについて



「地域の医療・介護サービス資源情報の共有化」を推進し、医療機関や介護事業所等が連携するための地域資源情報を手軽に取得できる環境を作ることを目的に、２０１９年６月に「地域資源マップ検討部会」を設置しました。

部会での検討を経て、２０２０年４月１日からインターネット上で閲覧出来る医療・介護資源マップを公開しています。

２０２２年度も、町プロの各団体の皆様にご協力いただき、掲載情報の更新を行いました。

１１　町プロポータルサイトについて

医療と介護の関係者が、町プロの活動について理解を深めるとともに、在宅医療・介護連携に必要な情報を共有するため、２０２０年４月１日にポータルサイトを立ち上げました。

https://machidapj.com/

【主な掲載内容】
・医療と介護の資源マップ
・町プロ協議会の議事録
・多職種連携研修会の開催結果
・連携ツールなど町プロの取組の紹介
・地域ケア会議の開催案内及び会議結果

１２　医療と介護の資源紹介イベントについて

市民に対し、地域の医療機関と介護事業所を知っていただく目的で南第１高齢者支援センターのエリアでウォークラリーを開催しました。

参加者へのプレゼントとして、地域の医療と介護の事業所の紹介冊子を作成し、シンボルマークの付いたお薬手帳カバーと合わせて配布しました。

・時期　　２０２２年１０月１日～１０月１５日
・地域　　南第１高齢者支援センターエリア
　　（南町田・鶴間・小川・つくし野・南つくし野）
・参加者数　１２６人

【資料１】

１３　新型コロナウイルス感染症への対応について

新型コロナウイルスの影響により対面での研修が難しい状況の中、医療・介護の専門職に感染症対策等の必要な情報を迅速にお伝えするため、町プロ多職種連携研修会の緊急企画として、新型コロナウイルス感染症への対応に関する動画を作成し、町プロポータルサイトで公開しています。

	動画タイトル	公開日	参加団体	QR コード
1	正しい手洗いの仕方	20/6/4	医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問介護事業者協議会、高齢者福祉施設部会、ケアマネジャー連絡会	
2	マスクと手袋の正しいつけ方	20/7/13	訪問看護ステーション連絡会、訪問マッサージ連絡会、柔道整復師会　町田支部、ソーシャルワーカー連絡会	
3	自宅でできる体操	20/7/31	リハビリテーション連絡会	
4	消毒液の正しい使い方	20/9/4	通所事業所連絡会、有料老人ホーム連絡協議会、グループホーム連絡会、小規模多機能連絡会、福祉用具事業所連絡会	
5	身近な物でできる応急処置	20/10/22	柔道整復師会　町田支部	
6	個人防護服の着脱方法	21/4/28	訪問看護ステーション連絡会	
7	高齢者が気をつけたい感染症とその予防接種	21/10/26	町田市医師会	